

観光社会資本の事例

テーマ	蔵づくりの街並み(川越市一番街)	
【施設の状況写真】		
		
石畳が歴史的情緒を醸し出す「鐘つき通り線」と「時の鐘」	観光客で賑わう「菓子屋横丁通り線」	文化遺産が立ち並ぶ街の景観を守る電線の地中化等を実施
【施設の利用写真】		
		
県内でも有数の観光地として賑わう一番街	川越祭りでは中央通り線を豪華絢爛な山車が曳き廻される。	
【観光資源としての利用状況】		
<p>川越地区はかつて城下町として発展してきた蔵造りの歴史的町並みが今なお残り、伝統的建造物や文化公共施設が多数点在しています。</p> <p>蔵造りの町並みは、明治26年(1893)の川越大火を契機に作られたものですが、都市化の流れとともにまちの中心は川越駅周辺へと移り、商業地としては徐々に衰退していく中で、地域の商店街が関係機関の支援のもと、歴史的な町並みを活かしたまちづくりに取り組んだ結果、関東大震災や戦災で失われてしまった江戸から明治時代にかけての東京の歴史的景観を彷彿とさせる首都圏の貴重な歴史的町並みとして注目され、近年は多くの来街者を集め、商店街の賑わいを取り戻しつつあります。また、川越祭りや天海僧正ゆかりの喜多院、川越城址などとともに江戸の名残を伝えています。</p> <p>観光入り込み客数は、昭和50年代中頃に約250万人でしたが、平成16年度は約450万人となり、約2倍へと増加し、県下有数の観光地として、観光・商業の複合市街地が形成されています。</p>		

テーマ	蔵づくりの街並み(川越市一番街)	
【社会資本の基礎データ】		
名称	都市計画道路 菓子屋横丁通り線 ほか	名称 川越市中心市街地地区 所在地 埼玉県川越市
所在地	埼玉県川越市仲町 ~ 元町2丁目 目地内ほか (延長0.43km)	事業名 まちづくり総合支援事業 (まちづくり交付金)
事業名	歴史的地区環境整備街路事業他	事業主体 川越市
事業主体	川越市	事業期間 平成12年~16年 (平成
事業期間	平成2年~平成11年	17年~21年)
【社会資本の役割・効果】		
川越市の一番街商店街を中心とした地区では、地域住民が主体となり、蔵造りの街並みを再生した景観整備を進め、小江戸川越の情緒を残した回遊性のある街づくりがなされ、県内でも有数の観光地となっています。		
平成11年10月には、一番街を中心とする町並みが「グッドデザイン賞」を受賞し、同年12月1日の市政77周年を記念する日に、蔵造りの町並みの一帯が、埼玉県ではじめての「重要伝統的建造物群保存地区」として選定されました。		
また、川越周辺地区の道路等を整備し、駅及び北部の歴史的町並み地区へのアクセスをよくすることにより、交通渋滞が緩和され、また歩道等の歩行者空間が確保されました。さらに、伝統的建造物群保存地区を含む北部地区の道路整備を推進することで、川越市の観光拠点である歴史的町並み地区が活性化されました。		
都市計画道路中央通り線は、保存地区の中央に位置し、電線類の地中化が完了し、引き続き歩道整備を行うことにより来訪者を蔵づくりの街並みへと誘導を図っています。また、周辺の歴史的な道筋は、歴史的地区環境整備街路事業により石畳化を進めており、歩行者の回遊性を高めています。		
【位置図】		
 <p>埼玉県</p> <p>埼玉県</p> <p>川越市</p>	 <p>菓子屋横丁通り線</p> <p>川越市役所</p> <p>市立美術館</p> <p>市立博物館</p> <p>川越城本丸御殿</p> <p>三芳野神社</p> <p>蓮馨寺</p> <p>成田山別院</p> <p>喜多院</p> <p>仙波東照宮</p> <p>中院</p> <p>川越駅</p> <p>本川越駅</p> <p>川越駅前観光案内所</p> <p>川越市観光案内所</p> <p>小江戸川越観光協会</p> <p>蔵造り資料館</p> <p>川越まつり会館</p> <p>幸町観光案内所</p> <p>氷川神社</p> <p>時の鐘</p> <p>川越市役所</p> <p>市立美術館</p> <p>市立博物館</p> <p>川越城本丸御殿</p> <p>三芳野神社</p> <p>成田山別院</p> <p>喜多院</p> <p>仙波東照宮</p> <p>中院</p> <p>川越駅</p> <p>本川越駅</p> <p>川越駅前観光案内所</p> <p>川越市観光案内所</p> <p>小江戸川越観光協会</p> <p>蔵造り資料館</p> <p>川越まつり会館</p> <p>幸町観光案内所</p>	
【関連ホームページ】		
川越市役所 http://www.city.kawagoe.saitama.jp/		